

# 「元気発進！北九州」プラン (北橋市政) の実績について

(平成19～30年)

一部更新中

## 公約と基本構想・基本計画

- 平成19年2月 第12代市長に就任  
選挙公約 (マニフェスト) テーマ  
「ハートフル事業の実現に向けて」
- 平成20年12月  
基本構想・基本計画「元気発進！北九州」プラン策定  
「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」
- 平成23年2月 第13代市長に就任  
選挙公約テーマ  
「緑の成長戦略で人にやさしく元気なまちづくり」
- 平成27年2月 第14代市長に就任  
政策集テーマ  
「人にやさしく まちには活力」

# 主な取組み実績

- 「子育て日本一を実感できるまち」の実現を目指した取組  
「次世代育成環境ランキング（NPO法人調べ）」  
7年連続政令市1位
- 健康で長寿の社会づくり  
住みなれた地域で暮らせるきめ細かな支援  
（地域包括ケアシステムの構築）  
北九州市認知症支援・介護予防センターの開設
- 安全・安心なまちづくりの推進  
刑法犯認知件数がピーク時（平成14年）より8割減少  
市政評価で「防犯・暴力追放運動の推進」が3年連続1位
- 文化・芸術、スポーツを活かしたまちづくり  
「文学の街・北九州」、「映画の街・北九州」の振興  
漫画・ポップカルチャーの振興、北九州マラソンの定期開催
- 観光や大規模大会・イベントによるにぎわいの創出  
インバウンド（外国人観光客数）、北九州空港利用者数が過去最高  
G7北九州エネルギー大臣会合の開催  
TGC北九州の開催 ほか
- 世界の環境首都を目指した取組  
アジア諸国とのパートナーシップ強化（プノンペン都ほか）  
アジアの課題解決に資する環境国際協力、環境ビジネスの展開
- 地方創生の成功モデル都市への取組  
若い世代の北九州市への定着が改善  
介護ロボットの実証など国家戦略特区の推進

※次ページ以降、「元気発進！北九州」プランの  
取組の柱に沿って、主な取組と成果を記載

# I人を育てる（子育て・教育）

## 主な取組み

### 【子育て日本一を実感できる子育て環境の充実】

- 総合周産期母子医療センター及び小児救急医療の充実  
（センターの医師の確保・増員、市内産科医療の連携体制の充実）
- 妊婦検診の公費助成拡充
- 乳幼児等医療費支給制度の拡大
  - 1 期目（通院：5歳未満⇒小学校就学前、入院：小学校就学前⇒小6まで）
  - 2 期目（中学3年生までの入院医療費の助成を実施）
  - 3 期目（通院：小学校就学前⇒小6まで）
- 「赤ちゃんの駅」設置
- 各区役所への子育て支援コンシェルジュ配置
- 保育士配置基準の独自改善（保育所児童（1歳児）一人あたり）  
（児童：保育士=6:1⇒5:1へ）
- 幼稚園・保育園の園庭芝生化
- 保幼小連携プログラム「つながる」の作成
- 放課後児童クラブの全児童化

### 【学校教育の充実、教育環境の整備】

- 35人以下学級の実施
  - 1 期目（小学校1、2年及び中学1年での実施） 2 期目（小学校3年生での実施）
- 学校施設の改修  
さわやかトイレ整備事業、耐震補強、老朽化対策（大規模改修、外壁改修等）
- 小・中学校の普通教室へのエアコン設置
- 中学校完全給食の実施（H23年度から全中学校で実施）
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールヘルパーの充実
- 子ども読書活動の推進、学校図書館職員の拡充、小中学校図書館空調整備
- 経済界との連携による学校支援モデル事業
- こどもひまわり学習塾の実施

### 【その他の主な取組み】

- 図書館の充実（黒崎副都心「文化・交流拠点地区」図書館、旧戸畑区役所庁舎図書館、小倉南図書館整備）
- 特別支援学校の整備（東部特別支援学校の整備など）
- 総合療育センターの再構築
- 子ども食堂開設支援
- 青少年の非行を生まない地域づくり（推進本部設置、「深夜はいかい防止北九州宣言」）
- 子ども・若者応援センター「YELL」の充実

## 主な成果・指標

- NPO法人エガリテ大手前「次世代育成環境ランキング」での順位  
政令市部門で7年連続第1位
- 合計特殊出生率の上昇  
H18年 1.36⇒H22年 1.48⇒H28年 1.61 (政令市1位/20市中)
- 「子育て支援の推進」に対する市政評価の上昇  
H18年度 24位 ⇒ H29年度 4位
- 市民満足度調査で「安心して子育てができるまち」と感じる人の割合  
9.8%上昇 (H21年度 39.0%⇒H28年度 48.8%)
- 妊娠11週までの妊娠届出者の割合  
H20年度 58.8% ⇒ H29年度 91.7%
- 生後4か月までの乳児家庭訪問の割合  
H20年度 68.5% ⇒ H29年度 95.5%
- 赤ちゃんの駅登録箇所数  
H21年度 314箇所 ⇒ H30年度 424箇所
- 放課後児童クラブの登録数  
H18年度 5,704人 ⇒ H29年度 11,489人
- 放課後児童クラブの待機児童数  
H18年度 105人 ⇒ H29年度 0人
- 「学校教育の充実」に対する市政評価の上昇  
H18年度 32位 ⇒ H29年度 15位
- 授業以外(月～金)の学習時間が1時間以上の児童生徒の割合(小学6年生)  
H20年度 42.3% ⇒ H29年度 50.8%
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果  
H29年度 小学校・中学校の男女ともに、体力合計点が全国平均を上回る
- 学校耐震化率  
H20年度 35.2% ⇒ H25年度 82.5% ⇒ H27年度 100%
- スクールソーシャルワーカーの配置  
H25年度 6人 ⇒ H29年度 12人
- スクールヘルパー延べ活動人数  
H21年度 95,550人 ⇒ H29年度 110,358人
- 子どもひまわり学習塾実施校  
H29年度 小学校100校 中学校62校
- 「北九州の企業人による小学校応援団」実施小学校  
H18年度 0校 ⇒H25年度 13校 ⇒H29年度 131校(全市立小学校)

# Ⅱ きずなを結ぶ（健康、医療、福祉）

## 主な取組み

### 【医療体制の充実・地域包括ケアシステムの構築】

- 救急医療体制の充実（第2夜間・休日急患センターの整備）
- 市立八幡病院の移転再整備（基本計画の策定など）
- 新北九州市病院事業経営改革プランの策定
- 感染症対策の推進（新型インフルエンザ等対策行動計画策定など）
- 地域包括ケアシステムの構築
  - ・地域ケア会議を全区で実施
  - ・巡回相談「高齢者いきいき相談」スタート
  - ・地域支援コーディネーターを各区役所保健福祉課に配置
- いのちをつなぐネットワーク事業の推進
- 総合的な認知症対策の推進
  - ・北九州市認知症支援・介護予防センター開設
  - ・認知症サポーター養成

### 【健康づくり・生きがいづくり】

- 地域健康づくり事業の充実（市民センターを拠点とした健康づくり事業、健康マイレージ事業など）
- 公園健康遊具の整備
- 浅生スポーツセンターなどスポーツ施設の充実
- 高齢者のいきがいづくりの充実
  - ・年長者研修大学校等の運営
  - ・シニア・ハローワーク戸畑オープン
  - ・「いきがい活動ステーション」リニューアルオープン

### 【障害者の自立支援】

- 障害者小規模共同作業所の助成強化（360万円⇒500万円）
- 「障害者スポーツセンター」開設
- 障害者ワークステーション北九州設置
- 北九州共同受注センター設置
- 「障害を理由とする差別をなくし誰もが共に生きる北九州市づくりに関する条例」制定

### 【その他の主な取組み】

- 生活保護不正受給防止、自立支援対策（適正化推進チーム発足、就労意欲喚起事業など）
- 犬猫致死処分ゼロ社会宣言
- 自殺防止に向けた取組み（北九州市自殺対策計画の策定、いのちとこころの支援センターの運営など）

## 主な成果・指標

- 「医療・衛生管理体制の充実」に対する市政評価の上昇  
H18年度 13位 ⇒ H29年度 6位
- 特定検診の受診率の向上  
H20年度 22.0% ⇒ H29年度 34.4%
- 市民満足度調査で「高齢者がいきいきと自分らしく暮らせるまち」と感じる人の割合  
8.8%上昇（H21年度 29.0% ⇒ H28年度 37.8%）
- 認知症サポーター養成講座受講者数（累計）  
H18年度 968人 ⇒ H29年度 80,581人
- 「健康づくりの推進」に対する市政評価の上昇  
H18年度 23位 ⇒ H29年度 5位
- 市民センターを中心とした健康づくり事業実施団体数  
H20年度 61団体 ⇒ H25年度 111団体 ⇒ H29年度 128団体
- 健康マイレージ事業参加者数  
H21年度 4,590人 ⇒ H29年度 20,573人
- 障害者しごとサポートセンター利用者の就職件数  
H19年度 53件 ⇒ H29年度 88人
- 障害者スポーツ教室等参加者数  
H21年度 2,589人 ⇒ H29年度 7,059人
- 自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）  
H17年度 24.6人 ⇒ H29年度 18.6人
- 権利擁護・市民後見促進（法人後見受任件数）  
H21年度 12件 ⇒ H29年度 47件

# Ⅱ きずなを結ぶ（安全・安心ほか）

## 主な取組み

### 【安全・安心なまちづくり】

- 「安全・安心条例」制定、「安全・安心条例行動計画」策定
- 暴力追放運動の強化（市の事業における暴力団排除措置など）
- 1万人の防犯パトロール大作戦
- 防犯カメラの普及促進
- 防犯灯の設置維持補助金の増額（補助率：1/2⇒2/3など）
- みんなdeBousaiまちづくり推進事業
- 防災対策の充実（市総合防災訓練の実施、避難所体験・運営訓練の実施（毎年1回）、防災ガイドブック全戸配布）

### 【男女共同参画、平和の取組みほか】

- 「空家等の適正な管理等に関する条例」策定、空家バンクなど空家対策の推進
- 市民のモラル・マナーの向上（「モラル・マナーアップ関連条例」制定）
- 女性の活躍推進、ワーク・ライフ・バランスの推進
- 全管理職によるイクボス宣言、北九州都市圏域の17首長による共同イクボス宣言
- 人権の約束事運動
- 「北九州市非核平和都市宣言」（平成22年2月）、「嘉世子桜・親子桜」の植樹

## 主な成果・指標

- 「防犯・暴力追放運動の推進」に対する市政評価の上昇  
H18年度 20位 ⇒ H27～H29年度3年連続1位
- 刑法犯認知件数がピーク時から8割減少  
H14年 40,389件 ⇒ H29年 7,570件
- 北九州市空き家バンク  
登録件数199件、成約件数113件（H30.7時点）
- 市の審議会等委員への女性参画率  
H18年度 32.6% ⇒ H29年度 53.2%
- 市の女性役職者（係長以上）の比率  
H20年度 12.1% ⇒ H29年度 18.3%
- 「イクボス充実度ランキング（NPO法人調べ）」市区町村部門で1位
- 「嘉世子桜・親子桜」の中学校への植樹  
H28年度 全市立中学校（62校）への植樹が完了

# 皿暮らしを彩る（文化・スポーツ）

## 主な取組み

### 【文化芸術の振興】

- 子どもノンフィクション文学賞、林芙美子文学賞の創設
- 宗左近記念室の開館
- 北九州文学サロンの開設
- 漫画ミュージアム開設、北九州国際漫画大賞創設
- ポップカルチャーフェスティバル開催
- フィルムコミッションの推進、「映画の街・北九州」の情報発信、「松永文庫」整備
- ミュージアム・ツアー開始、文化芸術のアウトリーチ活動の充実
- 合唱のまちづくり（北九州市中学生合唱フェスティバル、市民参加型合唱祭等）
- 九州厚生年金会館の取得、リニューアルオープン
- 黒崎副都心「文化・交流拠点」整備
- 官営八幡製鐵所関連施設の世界文化遺産登録
- 戸畑祇園大山笠行事のユネスコ無形文化遺産
- 旧大連航路上屋整備

### 【スポーツの振興】

- 北九州マラソンの継続開催
- 新球技場（ミクニワールドスタジアム北九州）オープン
- ギラヴァンツ北九州支援
- 大規模スポーツ大会の誘致
- ラグビーワールドカップ、オリンピックのキャンプ誘致

## 主な成果・指標

- 漫画ミュージアム入場者数  
520,691人（H24.8～H30.1）
- フィルムコミッションへの評価  
「東京ドラマアウォード2014」特別賞、平成27年第23回福岡文化賞、平成29年総務省「ふるさとづくり大賞」受賞
- 映画ロケ等の地域経済への貢献（直接経済効果）  
H29年度 約5億2千万円
- いのちのたび博物館入館者数  
H18年度 362,291人 ⇒ H29年度 532,110人
- 北九州マラソン開催による地域経済への貢献（経済波及効果）  
H25年度 約10億5千万円
- ミクニワールドスタジアム北九州の経済波及効果  
11.7億円（H29.2～H30.1）
- ラグビーワールドカップウェールズ代表の事前キャンプ誘致に成功  
オリンピック・タイ卓球代表チームのキャンプ誘致に成功

# Ⅲ暮らしを彩る（地域活動）

## 主な取組み

### 【市民との協働、地域活動の支援】

- 「自治基本条例」制定、「北九州市協働のあり方に関する基本指針」策定
- 市民サブセンターの整備
- まちづくり協議会と区役所の連携強化  
（地域総括補助金の増額、区の新たな魅力づくり事業の実施など）
- いのちをつなぐネットワーク事業の充実強化  
（地域福祉団体との連携強化、市民生活に関わる企業との連携強化）
- 自治会加入促進（自治会加入促進月間等）

## 主な成果・指標

- 市民センター利用人数  
H18年度 4,794,471人 ⇒ H27年度 5,373,716人
- 地域支援コーディネーターの配置  
H27年5月 各役所保健福祉課に配置（H29年度16人）
- 市民活動サポートセンター利用者数  
H20年度 18,362人 ⇒ H29年度 24,338人

# Ⅳいきいきと働く（産業・雇用）

## 主な取組み

### 【経済状況への対応、新たな成長への戦略的取組み】

- リーマンショック不況に対応する緊急経済雇用対策の推進
- グリーンアジア国際戦略総合特区の指定と推進
- 「北九州市新成長戦略」策定
- 国家戦略特区の指定と推進

### 【産業振興、地域経済活性化】

- 大型企業誘致へのトップセールス（ブリヂストン、東邦チタニウムなど）
- BCPの観点などによる戦略的企業誘致（データセンター、コールセンター誘致など）
- IT・情報通信系企業の戦略的誘致
- 中小企業の新事業分野開拓支援（中小企業融資の実施、街かどショールームの実施など）
- ロボット産業拠点の形成（ロボット産業振興プラン策定など）
- 北九州空港の利用促進
- 創業支援（北九州スタートアップネットワークの会、ひなの会）
- リノベーションのまちづくり
- 農林水産業の地産地消・6次産業化の推進

### 【雇用・就業支援】

- 地元就職の促進（北九州ゆめみらいワーク、インターンシップ推進など）
- 奨学金返還支援事業（未来人材支援事業）の開始
- 「ウーマンワークカフェ北九州」開設
- 「シニア・ハローワーク戸畑」開設

## 主な成果・指標

- 緊急経済雇用対策予算  
約6,600億円（H20.12補正～H24年度）
- 企業誘致実績（H19～H28年度）  
誘致件数：373件 雇用人数：7,232人 投資額：5,436億円
- 中小企業融資実績  
H19～28年度 約5,200億円
- 北九州スタートアップネットワークの会  
北九州スタートアップラウンジ39回開催、延べ2,097人参加（H30.2時点）
- 有効求人倍率  
H21年度 0.44 ⇒ H29年12月 1.70
- U・Iターン応援プロジェクト就職決定者  
1,379人（H19～29年度）
- ウーマンワークカフェ北九州就職決定者（H28年度※H28年5月オープン）  
846人

# Ⅳいきいきと働く（観光・にぎわいづくり）

## 主な取組み

- 産業観光の振興（産業観光センター設置、工場夜景観賞ツアー開催、環境修学旅行誘致）
- 小倉城周辺の魅力向上事業
- ユネスコ世界文化遺産「官営八幡製鐵所関連施設」を活用した観光振興
- ユネスコ無形文化遺産「戸畑祇園大山笠行事」の振興
- 日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」を活用した観光振興
- インバウンド誘致（ひびきCTでのクルーズ船受入開始など）
- 大規模イベントの開催（北九州マラソン、B-1グランプリin北九州など）
- MICE誘致  
（G7北九州エネルギー大臣会合、世界医師会・世界獣医師会感染症国際会議など）
- 都心部のにぎわいづくり（都心集客アクションプラン）
- 「TGC KITAKYUSHU」開催
- 「北九州ポップカルチャーフェスティバル」開催
- 市制50周年記念イベントの実施

## 主な成果・指標

- 観光客数  
H20年 1,175万人 ⇒ H29年 2,532万人
- 宿泊観光客数  
H20年 91万人 ⇒ H29年 186万人
- 産業観光客数  
H29年 57万8千人
- ひびきCTへのクルーズ船寄港  
H29年12月時点 23回（他に門司8回）
- MICE開催件数  
H20年 183件 ⇒ H28年 286件
- 国際会議開催件数（日本政府観光局調べ）  
H28年 全国10位（初のランクイン、108件）
- 市制50周年記念事業 787事業

# V街を支える（都市基盤整備）

## 主な取組み

- 折尾地区総合整備事業
- 黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備
- コムシティの再整備
- 新球技場（ミクニワールドスタジアム北九州）整備
- 浅生スポーツセンター整備
- 交通・物流ネットワークの強化（黒崎バイパス、新若戸道路の整備など）
- 環境に配慮した公共交通計画の策定（北九州市環境首都総合交通戦略）
- 北九州空港貨物拠点化推進
- 若戸大橋・若戸トンネル無料化
- 自転車専用レーンの整備
- まちなかで快適に居住できる住宅整備の促進  
（高齢者等に配慮した優良建築物の整備、住宅購入資金援助など）
- 地域に役立つ公園づくり、健康づくりを支援する公園整備
- 紫川などの治水対策・河川改修などの推進（河川・下水道整備）
- 市民生活密着型公共事業の重点化
- グリーン公共事業の重点化

## 主な成果・指標

- 市民満足度調査：「道路、公園、建物など公共施設を安心して快適に利用できる」  
9.6%上昇（H21年度 48.8% ⇒ H28年度 58.4%）
- 道路整備による都市高速ランプ10分圏域カバー率の向上  
H17年度 約85% ⇒ H25年度 100%
- 北九州空港貨物便の誘致（ANAカーゴ）
- 都市公園数の増加  
H18年度 1,600 ⇒ H28年度 1,708
- 主要経路のバリアフリー化  
H16年度 65% ⇒ H28年度 90%

# VI環境を未来に引き継ぐ

## 主な取組み

- 環境モデル都市の認定（平成20年）と推進
- 環境未来都市、グリーンアジア国際戦略総合特区のダブル認定（平成23年）と推進

### 【環境保全・リサイクル】

- 環境首都100万本植樹
- 資源循環拠点（エコタウン）の形成（都市鉱山等）
- 市民参加型の環境学習の推進（まなびとESDステーション開設など）
- 東日本大震災での災害廃棄物の受入（平成24年8月～平成25年3月）
- 安全なPCB処理の推進（処理地域の拡大・処理期限の延長の受け入れ）
- 響灘ビオトープ開設（平成24年10月）

### 【エネルギー】

- 建築物総合環境評価制度（CASBEE北九州）の導入
- 住宅用太陽光発電システム設置補助制度の新設
- スマートコミュニティ創造事業、ゼロ・カーボン先進街区事業
- 「北九州水素タウン」実証
- 地域エネルギー拠点の形成、株式会社北九州パワー設立
- 洋上風力発電関連産業の総合拠点化推進
- 中小企業省エネ設備導入支援

## 主な成果・指標

- OECDグリーンシティプログラムへの選定
- 家庭系ごみ排出量  
H18年度 237,393 t ⇒ H29年度 180,118 t (約23%減)
- 一人一日あたりの家庭ごみの量  
H18年度 約660 g ⇒ H29年度 約530 g
- 一般廃棄物のリサイクル率  
H18年度 23.1% ⇒ H28年度 26.3%
- 北九州エコタウン累計投資額 約780億円 (H29年度末)
- 北九州エコタウン視察者数 101,796人 (H29年度)
- 環境首都100万本植樹プロジェクト  
H29年度 26,538本 累計 約70万本
- 環境首都検定受験者数 (H21年度～)  
合計21,093人 (H21年度458人 ⇒ H29年度4,320人)
- 環境ミュージアム利用者数 135,008人 (H29年度)
- スマートコミュニティ創造事業  
「ISGAN AWARD 2014」においてアジアで唯一トップ10に入賞

# Ⅶアジアの中で成長する

## 主な取組み

### 【環境国際協力、アジア展開】

- アジアへの環境ビジネスの積極的展開（アジア低炭素化センターの創設など）  
受注件数：54件（受注額101億円）（平成29年12月時点）
- 海外水ビジネスの推進（推進協議会の設置、ウォータープラザ）  
受注件数：52件（平成30年1月時点）
- 環境・上下水道技術国際協力の推進、国際研修生の受入れ
- 中国6都市と、大気環境改善における都市間連携協力事業
- 東アジア経済交流推進機構の推進
- ベトナム・ハイフォン市と姉妹都市協定の締結（平成26年4月）
- カンボジア・プノンペン都との姉妹都市締結（平成28年3月）
- フィリピン・ダバオ市との環境姉妹都市締結（平成29年11月）

## 主な成果・指標

- アジアへの環境ビジネスの積極的展開（アジア低炭素化センターの創設など）  
受注件数：54件（受注額101億円）（平成29年12月時点）
- 海外水ビジネスの推進（推進協議会の設置、ウォータープラザ）  
受注件数：52件（平成30年1月時点）
- ベトナム・ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画（U-BCF整備工事）の受注  
北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業のJV、約20億円
- 環境分野の国際協力研修員受入（H19～H29年度） 15,698人
- 中国6都市との連携協力。研修生受入59人、専門家派遣135人。
- 本市への外国企業・機関の進出件数（H20～H25年度） 12件
- 姉妹・友好都市との交流事業の延べ参加者数  
H20年度 320人 ⇒ H25年度 480人

# Ⅷ地方創生、市のマネジメント他

## 主な取組み

### 【地方創生の推進】

- 「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定（平成27年10月）、地方創生の推進
- 都市ブランドの発信（北九州市応援団の結成、時と風の博物館の開設など）
- 連携中枢都市圏「北九州都市圏域」連携協約締結（平成28年4月）

### 【市のマネジメント】

- 区役所窓口ワンストップサービスの実施（フロアマネージャー、番号発券機の設置）
- 区役所窓口延長の本格実施
- 八幡西区役所のコムシティへの移転
- 行財政改革の推進（北九州市経営プラン、行財政改革大綱策定）
- 公民パートナーシップの推進
  - ・指定管理者制度の導入・PFI事業の推進（ひびしんホールなど）
- 公共施設マネジメントの推進
- 厳しい財政事情の中、地元経済活性化のため毎年600～700億円規模の投資的経費を確保

## 主な成果・指標

- 若い世代の定着を始めとした社会動態の改善
- 「住みよいまち・北九州市」の全国誌・全国放送での掲載・放送
- ワンストップサービス（転居、国保、介護の手続） 約50分 ⇒ 約30分に短縮
- 収支改善効果（北九州市経営プラン、北九州市行財政改革推進計画）  
8年間（H21年～28年度）で一般財源 498億円の収支改善
- 職員数の削減（H18年度 9,548人 ⇒ H29年度 8,257人）
- 指定管理者制度導入による経費削減効果 約31億円（H15～H24年度）
- 公共施設のマネジメント担当副市長、専門組織の設置（H26.4～）
- 財政調整基金残高：293億円（H29年度決算額）